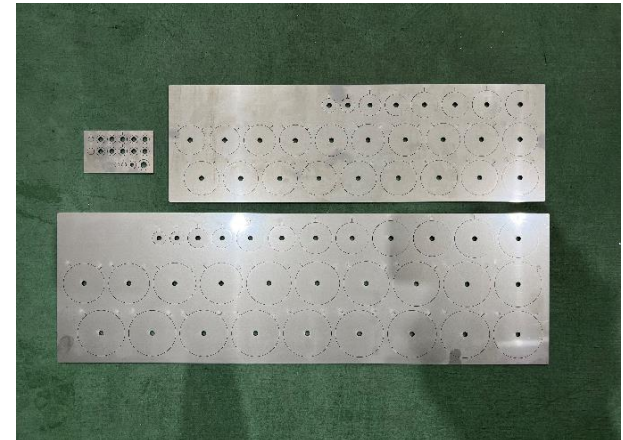


～バルーンアートができるまで～

【顔、首、胴体、尻尾】

- ①積層のデータをパーツごとに作成
- ②中心となる穴に丸棒を通し、上下をナットで固定
- ③外周をすべてTIG溶接し、丸みを持たせる
- ④ボール盤の回転を利用し、ひとつずつひたすら研磨
- ⑤はみ出している丸棒を切除し、穴を埋めて楕円球を量産



【耳、両脚】

- ①ひょうたん型（くぼみを再現）の積層データを作成
- ②重なりがずれないように二箇所丸棒を通し、ナットで固定
- ③外周をすべてTIG溶接
- ④手作業でひたすら研磨



【組み立て】

- ①各パーツのバランスを見ながらファイバー溶接機で点付け
- ②土台となる脚、胴体→首、尻尾→耳→頭の順で溶接
- ③全体の点付けした箇所をさらに溶接して完成

